人類の出現と文明

名前

問1　古代中国の黄河文明で用いられた「甲骨文字」について、その特徴や歴史的背景を説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2017年 大分県公立入試 類似）

1. シュメール人が粘土板に刻んだ文字で、のちに周辺諸国へと広まった。
2. フェニキア人が考案した表音文字で、のちのアルファベットの基礎となった。
3. 亀の甲羅などに占いの結果を記したもので、現在の漢字の起源となった。
4. エジプトでパピルスという紙に書かれた文字で、王の業績を記録した。

問2　古代エジプト文明の特色について述べた説明として、文化的な特徴と建築物の組み合わせが正しいものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 亀の甲羅などに刻まれた甲骨文字を使用し、ナイル川のはんらんを鎮める儀式を行った。
2. 事物の形をかたどった象形文字（ヒエログリフ）を使用し、王の墓とされるピラミッドを建設した。
3. 太陽暦を用いてはんらん時期を予測し、ジッグラトと呼ばれる聖なる塔を各地に建設した。
4. 粘土板に刻まれた楔形文字を使用し、天体観測の結果をピラミッドの壁面に記録した。

問3　円形闘技場（コロッセウム）に代表される大規模な石造建築物が造られた古代ローマ帝国では、キリスト教に対する扱いが時代とともに大きく変化しました。その経緯を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 島根県公立入試 類似）

1. 建国当初からキリスト教を保護し、シルクロードを通じて東アジアへ広めた
2. 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった
3. 高度な天文学や数字の知識を持つキリスト教徒を優遇し、建国初期から公認していた
4. ギリシャの民主政治の影響を受け、建国時から一貫してキリスト教を国教としていた

問4　16世紀以降の南アメリカ大陸における、ヨーロッパ諸国の進出と植民地化の様子について説明した文として、正しいものはどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 16世紀からイギリスやフランスが大陸へ進出し、先住民と協力して新しい国家を建設した。
2. 18世紀からスペインやポルトガルが大陸へ進出し、先住民の文明を保護しながら統治した。
3. イギリスやオランダが大陸へ進出し、キリスト教の布教を禁止して植民地を広げた。
4. スペインやポルトガルが大陸へ進出し、先住民を征服して広大な領土を支配した。

問5　インダス文明の遺跡から出土した、一角獣のような動物のレリーフと象形文字のような記号が刻まれた長方形の石製品について、その特徴や背景を説明したものとして適切なものはどれですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

1. これらはパピルスと呼ばれ、文字はナイル川流域の王の事績を記録したものである。
2. これらは印章と呼ばれ、文字は現在も解読されていない。
3. これらは甲骨と呼ばれ、文字は亀の甲羅や動物の骨に刻まれた中国最古の文字である。
4. これらは粘土板と呼ばれ、文字はメソポタミアとの交易記録を記した楔形文字である。

問6　インダス川流域で栄えた古代文明の遺跡について、当時の社会の様子を推察する説明として最も適切なものはどれですか。（2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 計画的に配置された道路や水路、巨大な公衆浴場などの跡から、高度な土木技術と組織的な都市運営が行われていたことがわかる。
2. 大規模な王墓や死者の書が発見されていることから、死後の世界を重視し、強力な専制君主による統治が行われていたことがわかる。
3. 文字を記した粘土板が大量に発掘されており、その解読結果から、肥沃な三日月地帯において灌漑農業を基盤とした交易が盛んであったことがわかる。
4. 城壁に囲まれた都市が点在し、各都市で異なる暦や度量衡が使われていたことから、統一された文化を持たない部族連合体であったことがわかる。

問7　紀元前16世紀ごろ、中国の黄河流域におこった古代国家において、神への問いかけや占いの結果を記録するために、亀の甲羅や牛の骨に刻んで使われていた文字を何と言いますか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. インダス文字
2. 楔形文字
3. 象形文字
4. 甲骨文字

問8　アフリカ大陸を北に向かって流れ、その流域において象形文字の使用やピラミッドの建設など、高度な文化を持つ古代文明が成立した河川の名称として正しいものを選んでください。（2018年 大阪府公立入試 類似）

1. メコン川
2. ナイル川
3. ユーフラテス川
4. ラプラタ川

問9　安土桃山時代に行われた朝鮮侵略（文禄・慶長の役）に関連して、日本の伝統的な陶芸技術が大きく発展した理由として最も適切な説明はどれですか。（2025年 岩手県公立入試 類似）

1. 渡来人が大陸から新しく須恵器の作製技術を日本に伝えたから。
2. 明から勘合を取り寄せて質の高い陶磁器を大量に輸入したから。
3. 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。
4. 聖武天皇が保護した正倉院の宝物を手本にして作られたから。

問10　マチュピチュを築いたインカ帝国の特徴について述べた文として、正しいものを選択してください。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. カースト制度と呼ばれる厳しい身分制度を維持し、仏教やヒンドゥー教が興る基盤となった。
2. ナイル川の氾濫を利用した農業を行い、国王のために巨大なピラミッドを建造した。
3. インダス川流域で栄え、高度な下水道完備やレンガ造りの都市計画を特徴としていた。
4. 文字は持たなかったが、結んだ紐の形や色で情報を伝える「キープ（結縄）」という手段を用いていた。

問11　四大文明の一つであるメソポタミア文明について、その特徴や文化的な背景を説明した文として最も適切なものは、次のうちどれですか。（2021年 徳島県公立入試 類似）

1. ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。
2. ナイル川の定期的な氾濫を管理するために、測量術が発達し、太陽暦や象形文字が使われた。
3. インダス川流域で都市文明が発達し、印章などに刻まれた独自の未解読文字が使われた。
4. 黄河や長江の流域で青銅器文化が発達し、亀の甲羅などに甲骨文字が刻まれた。

問12　11世紀末、ローマ教皇の呼びかけに応じて組織された「十字軍」が、長期にわたって大規模な遠征を繰り返した主な目的として正しいものはどれですか。（2023年 山梨県公立入試 類似）

1. 地中海周辺のキリスト教諸国を武力によって統一すること
2. 免罪符（贖宥状）を販売するための新しい市場を開拓すること
3. プロテスタントの勢力を抑えるために新航路を発見すること
4. 聖地エルサレムをイスラム勢力の支配から奪還すること

問13　紀元前3世紀、戦国時代の中国を初めて統一した人物は、北方の遊牧民の侵入を防ぐためにそれまでの防壁を連結・整備しました。この人物として正しいものを次の中から選びなさい。（2024年 京都府公立入試 類似）

1. フビライ・ハン
2. 西郷隆盛
3. 孔子
4. 秦の始皇帝

答え合わせ・解説

問1	答え 3 亀の甲羅などに占いの結果を記したもので、現在の漢字の起源となった。	甲骨文字は、紀元前1600年ごろの殷（商）の遺跡から発見された文字です。主に占いという宗教的な儀式の記録のために用いられましたが、その形や構造がのちの時代の漢字へと直接つながっている点が大きな歴史的意義を持っています。他の選択肢にある楔形文字（メソポタミア）やヒエログリフ（エジプト）とは成立過程や地域が異なります。
問2	答え 2 事物の形をかたどった象形文字（ヒエログリフ）を使用し、王の墓とされるピラミッドを建設した。	エジプト文明では、事物の形を簡略化した象形文字（ヒエログリフ）が用いられ、王（ファラオ）の権力を象徴するピラミッドなどの巨大建築物が造られました。楔形文字やジッグラトはメソポタミア文明、甲骨文字は中国文明の特徴であり、それぞれ発生した地域や背景が異なります。
問3	答え 2 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった	ローマ帝国は初期において、多神教の立場から皇帝崇拝を拒むキリスト教を「国家に反するもの」として処刑などの迫害を行いました。しかし、4世紀初めにコンスタンティヌス帝が信仰を認め（公認）、その後、帝国の分裂を防ぎ統治の正当性を支える基盤とするために、4世紀末には唯一の公式な宗教（国教）として定められました。シルクロードや民主政治などは、ローマ帝国のキリスト教政策とは異なる背景を持つ用語です。
問4	答え 4 スペインやポルトガルが大陸へ進出し、先住民を征服して広大な領土を支配した。	16世紀の大航海時代以降、ヨーロッパ諸国は海外進出を本格化させました。南アメリカ大陸には主にスペインとポルトガルが到達し、インカ帝国などの先住民の文明を征服して植民地としました。この影響で、現在もブラジルではポルトガル語、それ以外の多くの国ではスペイン語が公用語として使われ、カトリックを信仰する人々が多いという文化的特徴が見られます。イギリスやオランダが中心となったわけではなく、また18世紀よりも前から進出は始まっていました。
問5	答え 2 これらは印章と呼ばれ、文字は現在も解読されていない。	インダス文明の遺跡からは、滑石（かっせき）で作られた四角い印章が多数発見されています。そこには一角獣や牛、象などの動物の姿とともに独自の文字が刻まれており、荷物の封印などに使用されたと推測されています。他の古代文字が解読されていく中で、この文字は解読が進んでいないため、文明の政治体制や信仰の詳細は謎に包まれています。
問6	答え 1 計画的に配置された道路や水路、巨大な公衆浴場などの跡から、高度な土木技術と組織的な都市運営が行われていたことがわかる。	モヘンジョ・ダロなどのインダス文明の遺跡では、規格化された焼成レンガが使用され、碁盤の目状に区画された道路や、各家庭からつながる排水溝が整備されていました。このような整然とした都市の構造は、共通の規格や高度な測量・土木技術を持つ強力な統治機構が存在したことを示唆しています。
問7	答え 4 甲骨文字	古代中国の殷では、政治の重要な決定を占いに頼っており、その内容を記録した文字が現在の漢字の原型となりました。エジプトの象形文字、メソポタミアの楔形文字、インダス文明のインダス文字など、他の古代文明で使われていた文字との違いを区別しておく必要があります。
問8	答え 2 ナイル川	エジプト文明は、世界最長級の河川であるナイル川の流域で発達しました。選択肢のうち、メコン川は東南アジア、ユーフラテス川は西アジアのメソポタミア文明、ラプラタ川は南アメリカ大陸を流れる河川です。
問9	答え 3 朝鮮から多くの陶工が日本へ連れてこられ、各地で窯を開いたから。	安土桃山時代に豊臣秀吉が行った朝鮮侵略の際、連れてこられた朝鮮の陶工たちによって有田焼や薩摩焼などの優れた陶芸技術が日本に伝わり発展しました。勘合貿易は室町時代、須恵器の伝来は古墳時代、正倉院は奈良時代の出来事となります。
問10	答え 4 文字は持たなかったが、結んだ紐の形や色で情報を伝える「キープ（結縄）」という手段を用いていた。	インカ帝国は、15世紀から16世紀にかけて南アメリカ大陸の広大な範囲を統治した帝国です。独自の文字を持たなかったため、数字や情報を記録・伝達するために「キープ」と呼ばれる紐の結び目を利用していました。また、マチュピチュのような険しい山岳地帯に都市を築くための石造建築技術や、効率的な道路網（インカ道）を整備していたことも大きな特徴です。
問11	答え 1 ティグリス川とユーフラテス川の増水時期を予測する必要から、天文学が発達し、太陰暦や六十進法が生まれた。	メソポタミア文明は、不規則な氾濫を繰り返すティグリス川とユーフラテス川の流域で成立しました。そのため、農業の管理に不可欠な暦や数学が高度に発達しました。この地域で生まれたくさび形文字は、のちに周辺の民族にも広まり、西アジア全体の文化の基礎となりました。選択肢にある「ナイル川」はエジプト文明、「インダス川」はインダス文明、「黄河・長江」は中国文明に関する記述です。
問12	答え 4 聖地エルサレムをイスラム勢力の支配から奪還すること	11世紀にイスラム勢力のセルジューク朝がキリスト教の聖地であるエルサレムを占領したことを受け、ローマ教皇ウルバヌス2世が奪還を呼びかけたことが始まりです。この遠征は約200年にわたって続けられ、ヨーロッパ社会の変化に大きな影響を与えました。
問13	答え 4 秦の始皇帝	紀元前221年に中国を初めて統一した秦の始皇帝は、強力な中央集権体制を確立しました。北方の騎馬遊牧民である匈奴（きょうど）の侵攻に備え、それまで各国が築いていた長城を修築・連結して「万里の長城」を完成させました。孔子は春秋時代の儒教の始祖、フビライ・ハンは13世紀の元（モンゴル帝国）の皇帝、西郷隆盛は日本の幕末から明治にかけて活躍した人物です。